

皆様のおかげで 教育に変革が起きています

「子どもの教育が世界を変える®」の信念に基づき2000年に設立されたルーム・トゥ・リードが作った画期的なモデルは、初等教育での識字教育と中等学校での女子教育という、子どもの学校教育で最も重要な2つの時期において、低所得地域の学校で徹底した体系的な変革をもたらすことに焦点を置いています。私達は、地域社会、パートナー団体や行政と連携して、小学生が識字力を身に付け読書習慣を培い、少女達が重要な人生の局面に必要なスキルを中等学校でしっかりと身につけられるよう取り組んでいます。

ルーム・トゥ・リード グローバルオフィス: サンフランシスコ
デリー・香港・ロンドン・ムンバイ・ニューヨーク・シンガポール・シドニー・東京・チューリッヒ

www.roomtoread.org
japan.roomtoread.org (日本語)

2017年にルーム・トゥ・リードにオフィススペースを提供してくださったクレディスイス（香港と東京）、フィナンシャル・タイムズ（ロンドン）およびリライアンス・キャピタル（ムンバイ）に感謝申し上げます。

デザイン: メラニー・ドハーティ・デザイン **写真:** ポスター外側、左から右: サイカト・モジウムダー、アガ・カーン大学、ウィレム・ド・ランゲ。ポスター裏側、左から右: アン・ホームズ、シャーニ・ジャヤワデニ、クリスティン・ハリソン、6、12: アン・ホームズ、7: イアン・マーフィー、9: サイカト・モジウムダー、11、13、15: ウィレム・ド・ランゲ、11: ジアン・ニュエン、13: ピーター・スタッキングス、16: バルン・ショーダリー、17: ヴィラサク・サウスサニ、18: チェスター・マカナ、19: ナンシー・ファレーゼ、19: エマダッド・イスラム、20: AELTC (ジョエル・マークランド)、20: ダニエル・ムレー、20: パンチ・フォトグラフィック、21: シェーン・ロザリオ・フォトグラフィー、22: コーエン・ピーターズ/エピックス・イベント・フォトグラフィー、27: ダニエル・ヘイダク



Room to Read®

子どもの教育が世界を変える®

GAME *CHANGERS*

大きな変革

アニュアルレポート 2017



Room to Read®



ルーム・トゥ・リード 2017 アニュアルレポート

- 2 CEOと理事長からの手紙
- 4 子ども達の教育を変える：実績
- 8 子ども達の学びを変える：イノベーション
- 14 システムを変える：パートナーシップとスケール
- 20 グローバルな取り組み
- 24 企業・団体スポンサー
- 26 財務報告
- 28 理事会と職員

EDUCATION IS THE ULTIMATE GAME CHANGER.

教育は究極の変革

教育は子ども達の未来を根本から変えます。その影響は職業選択、社会参加、健康にまで及びます。子ども達やその家族はより多くの選択肢を得て、たった1世代で生活の質を改善することができます。教育を受けた新しい世代の子ども達は、飢餓、内戦、差別といった危機を乗り越え、あらゆる人にとってより良い世界を作ることができます。

2017年、皆様のおかげで220万人の少年少女が人生を変える教育の機会を得ることができました。

世界中の子ども達に
変革をもたらしてくださり
ありがとうございます。

Thank you

FOR BEING A GAME CHANGER FOR CHILDREN
AROUND THE GLOBE.

ルーム・トゥ・リード支援者の皆様へ



人生を大きく向上させる教育の力を強く信じている私にとって、ルーム・トゥ・リードの新CEOとして皆様のパートナーになれることは非常に大きな喜びです。2000年の創設以来、子ども達に読み方を教え、少女達が学校で勉強に打ち込めるようにするため

確かなソリューションを開発し、実施してきました。現在、私達は、この専門知識を伝え広めることに重点を置き、どこであってもすべての子どもが、自分のポテンシャルを最大限に引き出せる機会を持てるようにしたいと考えています。

変革の原動力として教育を考えることは、私にとって個人的に共感できるものがあります。わずか1世代前、私の家族では児童婚は当たり前のことでした。しかし、私の母は13歳のときに結婚しないと決めました。強いプレッシャーを受けながら、母は進学してインド軍の看護師となる教育を受ける道を選びました。そして看護師ピザを取得し、アメリカへ渡ったのです。その後も教育を追及した母は博士号を取り、素晴らしいキャリアを築きました。さらに、母が教育費を負担することで、その姉妹も社会という檻から自由を得ることができました。私の教育は与えられたものであり、だからこそ私も娘に教育を与えることができるのです。

私の母のストーリーは、知識とは選択肢と尊厳をもたらすことを実証しています。母の確固たる選択によって、私達家族全員の軌跡が変わり、私は人の役に立つ社会的影響を広めていくことに人生を捧げることができたのです。教育は、何百万人もの人々が私の持つ権利と同じ権利を確実に行使できるようにします。すばらしいスケールで子ども達に教育の機会をもたらす立場にあるルーム・トゥ・リードのような組織を運営でき大変光栄です。

ルーム・トゥ・リードは、画期的なソリューションとパートナーシップを通して、低所得者地域全体で長期的なシステムの変革の道を切り開いています。世界的な識字教育と教育における性差別撤廃という課題とこれがもたらす影響は、非常に大きなものです。しかし、私達にはこれを撲滅するツールがあります。私達

のプログラムがさまざまな状況で効果があることは実証済みです。インド、ラオス、ネパールで私達の識字教育プログラムに在籍する小学校2年生の子ども達について言えば、近隣の同級生と比較すると彼らの1分間の読書スピードは3倍で、読解問題の正答数は2倍です。女子教育プログラムでは4800名以上の少女達を卒業生として送り出しています。2016年の卒業生のうち78%が高等教育機関に進学したか、卒業後1年以内に就職しています。たった1人の子どもに手が届くだけで、未来にまで社会的影響を広げることができます。システムレベルで働きかけることで、この影響を飛躍的に拡大させて、地域社会や国全体にソリューションを提供できるのです。

2018年の終わりまでに、あわせて1660万人の子ども達に画期的な教育プログラムを届けます。私達には、より多くの子ども達に支援を届けるソリューションがあります。世界の子どものうち2億5000万人の子ども達は基礎教育を受けておらず、1億3000万人の少女達は学校に通っていません。私達は、できるだけ早くインパクトを拡大していかなくてはなりません。

私達が意欲的な目標を設け、達成できるのは、ひとえに皆様がこの時代におけるこうした課題を解決しようと取り組んでくださるからにほかなりません。私達が数百万人もの子ども達にこれから支援の手を伸ばしていくにあたって、誠実に、そして喜びを持って賛同してくださることにお礼を申し上げます。

Gutha

ギータ・ムラリ博士、CEO

親愛なる皆様へ、



2010年に初めてルーム・トゥ・リードのカンボジアへの旅に参加しました。私は女子教育プログラムの卒業生であるダム・ハワイが立ち上がり、鋭いまさざしの現地の役人達に向けて、演説を行うのを見ていました。彼女は自分の生い立ちについて、自信に満ち溢れたスピーチをよどみなく行いました。アルコール中毒の父親、病気の母親、そしてルーム・トゥ・リードの支援によって実現した教育について語った渾身のスピーチは、ルーム・トゥ・リードの創設者ジョン・ウッドの情熱的なスピーチをさらってしまいました。実はその時、ジョン・ウッドは毒グモに噛まれた激痛に耐えながら淡々と言葉を紡いでいたのです。どれも思い出に残っています。

フィナンシャル・タイムズ紙の記者として、私はその数年前にルーム・トゥ・リードに出会い、その事実、数字、目的に感銘を受けました。フィナンシャル・タイムズ紙は事実しに重きを置いています。事実によってしっかりと運営されている団体かどうかを見極めるのです。そのレンズを通して見たルーム・トゥ・リードの効果と効率性、そのミッションには目を見張るものがありました。フィナンシャル・タイムズ紙は、毎日、社会、政治、医療、環境に関する危機を報道しています。その多くは、世界に7億5000万人いる非識字人口が読み書き能力をつけることができれば、より効果的に解決できるでしょう。

しかし、人がもたらす影響やチームの取り組みを目の当たりにして、読むだけでは理解できなかったことがわかりました。カンボジアで目にしたその日の光景や体験は、理事として、そして現在グローバルの理事長としてルーム・トゥ・リードで働くようになってからずっと私の心に残っています。

以来、心を揺さぶられるような瞬間が何度もありました。1,000万人の子ども達に支援の手を差し伸べるといった大きな目標を予定前倒しで達成したこと、昨年インド北部での理事会のトレッキングで、女子教育プログラムの参加者5万人到達を祝ったこと、

2,400万人以上の子ども達に本を配布したことなどです。さまざまな変化や進歩がありました。教授法、優れた女性メンターに協力を求めて女子の教育の推奨や支援を行うといった配慮や実施方法におけるイノベーション、ルーム・トゥ・リード・アクセラレータの技術協力を介したシステムの拡張、そして、専門知識と財政支援を行うリージョナル・ボードの設立などです。こうしたイニシアチブはすべて、重要なミッションにおけるNGOのベストプラクティスを表しており、世界の非識字や教育における性差別撤廃という課題に必要なスケールにまで、ルーム・トゥ・リードを拡大しています。

一方で、ダム・ハワイは大学へ進学しました。家族の中で大学に進学したのは、彼女が初めてです。現在、ルーム・トゥ・リードの支援がなければ考えもつかなかったような仕事についています。兄弟姉妹の学費を援助しており、そのおかげで父親の酒癖もなくなりました。

こうした変化や進歩の中で、変わらない重要な要素があります。それは、世界中のルーム・トゥ・リード・チームの献身であり、世界中で募金をしてくださる皆様が情報に基づいて示してくださる寛容さです。非識字というのは他の事柄のように新聞の見出しを飾ることはありません。しかし、世界の発展と平等な機会に対して最も根本的な障害となっているのはおそらく非識字であろうと認識されています。フィナンシャル・タイムズ紙での経験から、ビジネスや組織において「文化」という言葉が氾濫していると私は思います。しかし、ルーム・トゥ・リードの文化は本物であり、素晴らしいものです。新CEOのストーリーを見れば明らかのように、ルーム・トゥ・リードのチームは、この優れた新CEOが率いる素晴らしいチームです。その専門知識と皆様の持続的な支援があることで、私達は永続的で前向きな変化を実現できるのです。

John

ジョン・リディング、理事長

子ども達の教育を変える： 実績





識字教育

世界中の子ども達が読む能力をつけて、学校や社会で目標を達成するのに必要な習慣を身に付けられるよう支援します。

恩恵を受けた子どもの数

2017年新規

2017年までの累計

220万人 **1,310万人**

恩恵を受けた学校数

2017年新規

2017年までの累計

7,825校 **30,337校**

出版した図書タイトル数

2017年新規

2017年までの累計

66冊 **1,469冊**

1校あたりの
平均貸出図書数

2017年

3,980冊

研修を受けた
教師と司書の数

2017年

15,285人

*実績にはルーム・トゥ・リード・アクセラレータ・プロジェクトの影響が含まれています。2015年以降、識字教育、図書館、現地語出版プログラムへの技術協力を通して、150万人以上の子ども達を援助してきました。

女子教育

低所得地域の少女達が中等教育を終えて、重要なライフスキルを身に付け、可能性を十分に開くことができるよう支援します。

恩恵を受けた少女の数

2017年合計

2017年までの累計

36,239人 **56,517人**

ライフスキル
研修を受けた
少女の割合

2017年

88%

プログラムに
留まった少女
の進学率

2017年

95%

中等学校を修了した少女達の数

2017年新規

2017年までの累計

1,380人 **4,856**

78% 以上

2016年の卒業生のうち卒業後
1年以内に高等教育に進学、
あるいは卒業後1年以内に就職が
決まった割合

子ども達の学びを変える： イノベーション



教育の格差を縮めるため、新しいアクティビティや教材を開発するなど、より積極的な支援方法を常に模索しています。

何て読むかな？口頭による言語指導法を用いた積極的な取り組み

ອ່ານແມ່ນມ່ວນ.

ラオ語で書いてあるこのフレーズが読めますか？ラオスの子ども達の約3分の1は、この言葉を読めません。ラオスには219の言語が話されていますが、公立校の授業で使われることはありません。

こうした子ども達、そしてさまざまな言語を話す地域のその他の子ども達が学校で勉強に打ち込めるようにするため、私達は口頭による言語指導法を開発して、子ども達のスピーチ力（語彙、文法、聞き取り、スピーチ）を迅速に改善しています。

2017年にラオスとインドでこうした積極的な支援方法のパイロットプログラムを始め、今後2年間にわたって学生の識字力にどのような影響をもたらすか調査します。

最初の一步：“読み解ける”ストーリーブック

人は、走れるようになる前に、まず歩くことを覚えます。読む力も同じで、読書の初心者には、より難しい文章を読むことができるようになる前に、まず簡単な文章を読む力をつけて自信を持てるようになる必要があります。

低所得国では、こうした初心者向けの読み物が不足していることがよくあります。私達が、子ども達が習得済みの文字や音声に基づき、限定された語彙でフルカラーの“読み解ける”ストーリーブックを作成したのはこのためです。これらの本は、学校のカリキュラムに合わせているので、1年生になる数か月前に一人で本1冊を読めるようになり、読書の喜びを発見することができるのです。

私達は子ども達が本を好きになるように支援するため、2017年に世界中で25冊の“読み解ける”書籍を出版しました。



ご存知でしたか？自分が話す言語や理解できる言語で教育を受けることができない人の数は、5人中3人にも上ります。口頭による言語指導法を用いた積極的な取り組みは、世界中の少数言語を話す子ども達が、学校の勉強についていけるように支援するものです。



ナンドラム

ネパールでの女子教育プログラムに参加したチトラの父親

「娘が息子より劣るということはありませぬ。娘達に平等な機会や教育が与えられたら、彼女達は素晴らしいリーダーにもなれるでしょう。私達は、ルーム・トゥ・リードのソーシャルモビライザーと一緒に、女子教育に反対する父親達を説得しました」



フオン

ベトナムでの識字教育プログラムに参加したキエンの母親

「私はちゃんとした教育を受けられませんでした。私の人生はきつい肉体労働とわずかな賃金だけです。ですから息子が読書好きになって、本当に嬉しく思います。私はきちんと読むことができませんが、一緒に座って、息子の朗読に耳を傾け、ストーリーについて話をするのです。学習や読書の喜びをもっと高めてほしいと思います」

賢いお金の使い方: 少女達とマネーリテラシー

普通、お金に関する教育は家庭でなされるものと見なされます。しかし、親にお金の知識がなければ、お金や貯金について学ぶチャンスを得ることができないかもしれません。また低所得国では性差別により、少女達がお金に関して学ぶことができる可能性は更に少なくなります。

2017年、私達は女子教育プログラムのカリキュラムを補足し、少女達がお金に関する様々な知識を深めることができるよう、マネー教育に関するライフスキルクラブの設立を計画し始めました。クレディスイスには、マネースキルプログラムの第一人者であるアフレートン・インターナショナルと提携して、このクラブで使う教材の開発助成をしていただきました。

このクラブは、2018年に**スリランカとタンザニア**の28の学校で導入されました。必要なものと欲しいものの違いの理解から、ビジネスプランの作成にいたるまで、様々なトピックを少女達に教えています。

実際にあった話: ノンフィクションの児童書

私達が毎日読むものは、そのほとんどがノンフィクションです。しかし、私達がプログラムを実施する国々で行った調査では、1年生〜3年生の子ども達が手に取って読める本のうち、子ども向けのノンフィクションは7%しかありませんでした。

この状況を改善するため、私達はノンフィクションの児童書の文章を書き、イラストをつけ、デザインするためのトレーニングを開発しました。2017年にRTIインターナショナルおよびタンザニア本土とザンジバルの教育省と提携して、こうしたトレーニングをもとに新しいスワヒリ語のノンフィクションの書籍を制作しました。

このプロジェクトは米国国際開発庁のツソメ・パモジャ（一緒に読もう）イニシアチブの一環であり、これを通して私達は現地の文化、食べ物や動物に関する魅力的な書籍32冊を制作し、現地の小学校に配布しました。また、先生がこうした本やその他のノンフィクション書籍を学校のカリキュラムとどのように組み合わせることができるかについてのアイデアも紹介しました。



子ども達がノンフィクションの本を必要とする5つの理由

1. 高学年での読書に備える
2. 語彙や知識を広げる
3. 実際の生活における問題への解決策を提示する
4. 第二言語の学習者を支援する
5. 子ども達の関心を引き寄せて、やる気のない子のやる気を引き出す



レセディ

南アフリカの識字教育プログラム生徒

「学校の図書室から毎週本を1冊借ります。友達に、同じくらい本を読むように、そして学校の勉強にもっと打ち込んで、授業中にうるさくしないようにと言っています。大きくなったら科学者になるのが夢です。世界のことをもっと知りたいし、自分の知識を伝えたいと思うからです」



システムを変える：
パートナーシップ
& スケール

より迅速にインパクト生み出すため、新たな地域に活動を広げ、ノウハウを共有し、より適切な教育環境と政策を促進するための機会を追求しています。

新たな地域: アラビア語の児童書

約9万人近くのヨルダンの子ども達（その3分の2はシリア難民）は学校に通っていないと推測されています。

2017年、現地の作家やイラストレーター36名とヨルダンの出版社3社と提携して、私達はこうしたヨルダンの子ども達に向けて、初めてのアラビア語の児童書を制作しました。アラブ首長国連邦の読書国家キャンペーンの一環として、ドバイケアから助成を受けたこのプロジェクトを通して、私達は20冊のカラフルな図書タイトルを作成しました。このうち半数の本は、難民の経験をもとにしたストーリーとなっています。

60万部以上がヨルダン全土の小学校、難民キャンプ、各地区の図書館や孤児院に配布されました。

共同作業: ライフスキル教育のベストプラクティス

少女達が学校や社会で成功を収めるために、クリティカルシンキング、意思決定や粘り強さなどの重要なライフスキルを身につけなければなりません。しかし、低所得地域に住む少女達は、社会的・文化的な障壁により、このようなスキルを身につけるのは困難です。そして学校でもこうしたスキルを直接カリキュラムに取り入れることはめったにありません。

インドでこの課題に対処するため、私達は女子教育や性差別撤廃におけるキーパーソン達と1日会合を持ちました。特に、ライフスキル教育を通して、少女達が学校で勉強に打ち込めるよう支援するための、さまざまな介入方法やベストプラクティスについて話し合いました。現地非営利団体、国際NGO、二国間・多国間機関、助成金出資者、行政担当者など、38団体の代表が集まり、インド全土で大規模なプログラムを実施するための枠組みについて学習し、議論を重ねました。

会合に続いて、組織の中心グループに参加して、学校における女子の学習を支援するための国レベルでのアクションプランを作成しました。



ご存知でしたか？ アラビア語の話し言葉には30種類のさまざまなバリエーションがありますが、書き言葉は同じです。つまり、新たに作られたアラビア語の児童書は、ヨルダンやその他の地域に住む子ども達も読むことができます。



アムフォン

ラオスにある小学校校長

「私が子どもの時の教育は、現在と大きく異なるものでした。教科書、先生への指導、教材やストーリーブックはありませんでした。自分の住む地域で昔とは違うやり方に取り組めるのは非常にやりがいを感じます。私の夢は、より良い変化をこの目で見ることです。私はこの学校を地域におけるモデル校にしたいのです」



本を読む：先住民族の言語による出版を推進

南アフリカには11の公用語がありますが、英語やアフリカンス語以外の言語を話す子ども向けの児童書はほとんどありません。

この格差を埋めるため、私達は南アフリカ政府、現地の非営利団体や出版社と提携して、同国の児童書産業の育成と先住民言語での読書の促進を図りました。この2年間のプロジェクトは、世界銀行の「すべての子ども達への教育結果 (REACH)」信託基金とグローバル・ブックアライアンスの助成により行われました。このプロジェクトは2017年に、良質な児童書の制作・選別についての国の推奨事項を作成することからスタートしました。

これらの推奨事項は、南アフリカ各地の公立学校の図書購入担当者、出版社、非営利団体に伝えられます。また、これをもとにオリジナルの児童書20冊を制作し、5か国語（セペディ、スワジ、ツォンガ、ヴェンタ、ズールー）で出版し、リンポポ、ムプマランガ、そしてクワズールー・ナタルの公立学校に配布します。



発言する：ホワイトリボン・キャンペーン

性差別撤廃は女性だけの問題ではありません。少年を含む男性は女性の権利を高めるための重要なパートナーです。このため私達は、家庭や地域社会での活動を通して、可能な限り女子教育プログラムに男性や少年にも関わってもらいたいと考えています。

そのひとつの方法として、**カンボジア**では、男性や少年に対して、女性や少女への暴力の撲滅と性差別の撤廃を訴えるホワイトリボンキャンペーンを毎年実施し、少女達に参加を促してきました。

2017年、男女を問わず、学生、保護者、教師、地域社会のメンバーが村の目抜き通りを行進したり、講演やロールプレイのアクティビティに参加しました。いかに男性や少年がポジティブな変化に取り組むことができるか示したのです。こうした意識改革を行うアクティビティに加え、地域社会の男性達には、女性や少女に対して暴力をふるったり、それを許容したり放置したりしないことを約束することを求めました。

女子の心身を守るために役立つ5つの方法

1. 重要な話し合いをする安全な場所を設ける
2. 少女達に擁護者をつける
3. 不適切な行動を特定して暴行を防ぐ
4. 不健全な関係には赤信号を出す
5. 自己主張できるコミュニケーション力を育てる



タニヤ

バングラディッシュの女子教育プログラム参加者

「私は自分の意見を言うことを以前はとても恐れていました。でも、今は他の人と簡単にコミュニケーションを図ることができます。善悪の判断もできます。何より素晴らしいのは「ノー」と言えるようになったことです。最近、私は友達と一緒に児童婚を防ぐことができました。私達は地域の児童婚を防ぐことに力を注いでいます。私には自信があります。将来はジャーナリストになって正確なニュースや真実を伝えていきたいです」

グローバルな取り組み

支援してくださるグローバルコミュニティのおかげで、私達の事業は可能になります。皆様からの提唱や支援が世界の子供たちの教育を、そしてそのプロセスにおいて彼らの人生を変えていくのです。非識字の撲滅と教育における性差別撤廃の推進にご協力いただきありがとうございます。

2017年 変革に貢献した8人のヒーロー



1



2



3



4

1. エマ・ドナヒュー

作家のエマ・ドナヒューは、識字教育と女子教育を支援するため、自身のシリーズ作「ロタリー (The Lottery)」の印税を快く寄付してくれました。

2. リチャード・ブレイス

世界的に有名なシェフのリチャード・ブレイスは、ルーム・トゥ・リードのためにTCSニューヨーク・シティマラソンに参加しました。

3. ガルピネ・ムグルッサ

トップテニスプレーヤーで、2017年ウィンブルドン選手権の優勝者であるガルピネ・ムグルッサは、ルーム・トゥ・リードの

アンバサダーに就任し、支援運動を通して私達のプログラムの募金活動に貢献しています。

4. エグゼクティブのランナー達

世界中から集まった30人以上のビジネスエグゼクティブが、香港で毎年開かれる最速エグゼクティブレースで8マイル(約13km)のコースを走りました。

5. ディルシャッド・ヴァザリア

女優でセレブリティ・アンバサダーのディルシャッド・ヴァザリアは、ギビング・チューズデーを称えてルーム・トゥ・リードのオンラインオークションでホストを務めました。

6. ロージー・アトウェル

オーストラリアの支援者ロージー・アトウェルは、エベレストに登頂して、これをネパールでの私達のプログラムに寄付を募る機会としました。

7. テックバイカーズ

活動支援のために、ハイテク業界の支援者グループが、自転車でパリからロンドンまで300キロの行程を3日間かけて走破するこのイベントは、6年目を迎えました。

8. スプリング・トレッカーズ

私達のシドニーチャプターでは、毎年30キロの山歩きを行い募金活動を行っています。



5



6



7



8

活動に参加する

あなたは教育の変革者ですか? どのような行動を起こして、世界中の他の熱意ある支援者とつながることができるかオンラインでシェアしてください。

 /RoomtoRead |  @RoomtoRead |  @RoomtoRead |  /RoomtoRead |  /company/Room-to-Read



世界的な法律事務所CMSIは、アムステルダムで毎年行うサッカー杯で#ActiveforEducationのハッシュタグを付けました。



レベルアップ:新たな支部のWEBサイト

40都市にわたる世界のボランティアネットワークである私達の支部は、年間予算のかなりの部分を調達しています。今日までに、支部のクリエイティブな活動を通して、150万人の子ども達とその恩恵を受けることができました。

2017年には支部のオンラインの募金活動の内容を大きく見直し、私達の事業に携わる人々の熱意やエネルギーをよりいっそう活用できるようにしました。アトラシアン寛大なサポートを得て、ボランティアのよりよい連携と動員を図り、8か国の通貨で同時に募金活動ができる新しい支部のWebサイトを立ち上げました。これにより、ボランティアの熱心な活動でより多くの子ども達を支援できるようになりました。

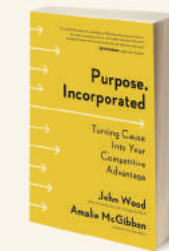
世界を変える：その他の読み物

2000年の創設以来、私達は世界に継続性のあるポジティブな変化を生み出すことについて多くを学んできました。こうして学習したことをシェアし、また意義のある目的のためにより多くの人々に行動を起こしてもらうため、私達のリーダーシップは次の2冊の本を発表しました。



Scaling Global Change: A Social Entrepreneur's Guide to Surviving the Start-up Phase and Driving Impact (グローバルな変化の拡大:スタートアップ段階を乗り越え影響力を付けるための社会起業家ガイド) エリン・ガンジュ、コリー・ヘイマン博士著

ルーム・トゥ・リードの共同創設者であるエリン・ガンジュと元最高イノベーション責任者(CIO)のコリー・ヘイマン博士が書いた、影響力のある社会事業の構築と拡大、ルーム・トゥ・リードの成長と成功を導いたツールや教訓を紹介するハウ・ツーガイドです。



Purpose, Incorporated: Turning Cause Into Your Competitive Advantage (目的を取り入れる: 目的を競争力に変える) ジョン・ウッド、アマリア・マクギボン著

ルーム・トゥ・リード創設者のジョン・ウッドがアマリア・マクギボンと共著で、収益性が高くかつそれを社会に還元する事業が成長傾向にあることをまとめました。同書は、起業家、企業幹部や最前線で活躍する担当者100名以上へのインタビューをもとに、目的を競争の主な力として活用する方法を紹介します。

「この本が、組織のあらゆるレベルの業務チームや従業員が、組織やキャリアに「目的を取り入れる」ことについて話し合うきっかけとなればと思っています」

～ルーム・トゥ・リード創設者 ジョン・ウッド

メディアにみるルーム・トゥ・リード



企業・団体スポンサー

企業スポンサー、財団や政府からの助成金は、私達が世界で識字教育や女子教育をしつかりと進めるにあたって不可欠です。2017年、こうしたパートナー団体は私達の支援全体の41%を助成しており、またそれぞれの持つ影響力のあるネットワークを通して私達のミッションの啓蒙活動を行っています。



アルタ・キャピタルは、ルーム・トゥ・リードのミッションに重要なプロジェクトの開発や向上を可能にしています。今日までに、アルタキャピタルはコアサポートに495万米ドルを投資し、ルーム・トゥ・リードが戦略目標に向かって前進し、これまで以上に私達の画期的なプログラムに子ども達が参加できるよう支援してくださっています。



アトラシアン財団インターナショナルは、ルーム・トゥ・リードのプログラムに約800万米ドルを寄付してくださいました。2017年、アトラシアンはカンボジアにおける私達の女子教育プログラム最大の支援者であり、オーストラリア最大の企業スポンサーです。アトラシアンの職員は、「1日1ドル」の職場寄付プログラムを通してルーム・トゥ・リードを個人レベルで大きくサポートしてくださっています。



2015年以来、**バンクオブアメリカ - BA コンティナム インディア** (BACI)は、84の図書館の設立を通してインドにおけるルーム・トゥ・リードの識字教育を支援してくださしました。BACI はまた、インドの女子教育プログラムで数千人の女子生徒を支援してくださっています。



ビル & メリンダ・ゲイツ財団は現在、インドの女子教育プログラム、特に少女達のライフスキル育成の成果に関する2年間の評価プロジェクトに共同出資していただいています。評価の結果は、女子教育プログラムのグローバルデザインと影響力の効果向上に利用されます。

eフォー・エデュケーション・イニシアチブを通して、**CitiFX**はキャンペーン中の様々な電子プラットフォームで想定外国為替100万米ドルの取引ごとに、教育に主眼を置く非営利団体に1米ドルを寄付していただきました。

ルーム・トゥ・リードとシティは、2013年のキャンペーン発足以来のパートナーです。2017年には89万米ドル以上をルーム・トゥ・リードに寄付していただきました。ルーム・トゥ・リードへの合計寄付額は310万ドルを超え、62000人以上の子ども達がその恩恵を受けています。



2005年以来、**クレディスイス**は私達にとって最も大きな企業スポンサーの1つです。2015年～2019年の戦略プランの開発、ルーム・トゥ・リード・アクセラレーターの立ち上げなど、クレディスイスは複数の戦略プロジェクトを支援していただいています。2017年、私達はタンザニアとスリランカで行われる同行のグローバル教育イニシアチブ（女子のためのマネー教育）において、パートナーシップを結びました。またクレディスイスには、香港と東京でルーム・トゥ・リードにオフィススペースを無償提供していただいております、グローバル・シズン・プログラムを通して、各国のチームの能力開発をご提供いただいております。



モハメド・ビン・ラシド・アル・マクトウム氏のグローバルイニシアチブの一環として、**ドバイケア**は、ルーム・トゥ・リードがネパールで行う学校再建や識字教育の取り組みにおける重要なパートナーです。さらに、ドバイケアは、アラブ首長国連邦の読書国家キャンペーンへの支援の一環として、ヨルダンでアラビア語の児童書の制作と60万部以上の配布、またカンボジア、インド、ネパール、スリランカ、タンザニア、ベトナムで200万部以上の現地語書籍を制作・配布していただきました。



2017年、**エキドナ・ギビング**は、ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムと女子教育プログラム、2015～2019年戦略プラン目標に投資していただきました。エキドナ・ギビングは、革新や分析、学習、システムの転換においてルーム・トゥ・リードの模範となるパートナーです。



フォーエーカー・トラストは、2005年以来ルーム・トゥ・リードの主要なパートナーとなつて、低所得地域の識字教育や女子教育を進めるために200万米ドル以上を支援してくださっています。タンザニアでのプログラムの立ち上げ支援のほかにも、ラオス、南アフリカ、ザンビアの子ども達に革新的な教育の機会をもたらすために大きな支援をしていただいています。



ゴールドマン・サックスとゴールドマン・サックス・ギブズプログラムを通じて、同社とその上級経営幹部からルーム・トゥ・リードに2,220万ドル以上を寄付していただきました。2017年にゴールドマン・サックスが行ったルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムと女子教育プログラムへの支援の結果、4万4600人以上の子ども達が恩恵を受けました。



2017年グーグル財団は、新しいデジタルプラットフォームを使って、バハサ・インドネシア語の児童向けデジタル書籍へのアクセスを増やす、効果的な読書活動に関して教員にトレーニングを行うという2つの方法で、20万人以上のインドネシアの子ども達の初期の読書体験を向上させる複数年にわたる助成金を約束していただきました。この助成金は、グーグルで年末に行われる従業員の寄付と併せて、世界中の子ども達に強く求められている教育の機会を提供しています。



2016年、ルーム・トゥ・リードは、**イケア財団**、そして、子ども達の遊びと成長の権利をサポートするイケアの「LET'S PLAY すべての子どもに遊ぶ自由を」キャンペーンと4年間のパートナーシップを結びました。このパートナーシップには、バングラデシュとインドネシアでルーム・トゥ・リードのプログラムに参加する9万3000人の子ども達を支援していただいています。



2017年、**IMC**はアメリカ、オランダおよびオーストラリアの拠点において、トレーディング・フォー・チャリティ・イベントを開催し、200万米ドル以上の収益金を集めることに成功しました。この収益金は、ルーム・トゥ・リードがタンザニアで行う子ども達の基本的な読解スキル習得の支援活動に充てられます。この素晴らしいイニシアチブを通して、IMCは2016年以来370万米ドルをルーム・トゥ・リードに寄付してくださいました。



ミリヤードアセットマネジメントは、2014年以来ルーム・トゥ・リードの重要なパートナーとなっています。香港に拠点を置く同社は、教育を通じてより明るい将来を求める子ども達17,000人以上を支援してきてくださっています。



「ビューティフル・フェイス、ビューティフル・フューチャー」イニシアチブを通して、**タッチャ**で買い物をするたびに世界の女子教育を支援することができます。ルーム・トゥ・リードとパートナーシップを結んだ2014年以降、タッチャには女子の学校教育を160万日以上支援していただいています。

2017年の主要企業・団体スポンサー

50万米ドル以上

アトラシアン財団・インターナショナル
シティ
クレディ・スイス
ドバイケア
エキドナ・ギビング
ゴールドマン・サックス
Google.org
イケア財団
IMC
UBSオプティマス財団
米国国際開発庁

250,000～499,999米ドル

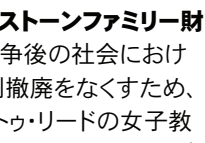
アルタ・キャピタル
バンク・オブ・アメリカ - BA
コンティナム・インディア
ビル & メリンダ・ゲイツ財団
シーラス財団
フォーエーカー・トラスト
ミリヤード・アセット・マネジメント
ストーンファミリー財団
タッチャ
タウンゼントプレス

100,000～249,999米ドル

プリン・ウオジツキ財団
BURGER KING McLAMORE™財団
キャタピラー財団
ターゲットの代理として
アメリカ・チャリティエイド財団
CMS法務サービスEEIG
EROL財団
グラクソスミスクライン
ヒルトン
ホグランド財団
HSBC銀行
メットライフ財団
モンサント・ファンド
オラクル
センサトインベスター
ターニングリーフ財団
ビクトリー・スクエア・ブロック
チェーン・アッセンブリー

50,000～99,999米ドル

アダニ財団
アディタヤ・バラグループ
アライアンス・バーンスタイン
AT&Tインド



2017年、**ストーンファミリー財団**は、紛争後の社会における性差別撤廃をなくすため、ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムに2年間の助成金を投資していただきました。このパートナーシップにより、タンザニアの少女達の人生を変え、その他のプログラムを実施する国々で習得結果やベストプラクティスを共有することが可能となります。



先生を支援して子ども達の学びを支援する小中高から大学生向けの教材で高い評価を得ている独立系出版社の**タウンゼントプレス**は、2007年にルーム・トゥ・リードのパートナーとなりました。タウンゼントプレスは、コアの運営と現地語での書籍出版、図書館開発や女子教育プログラムを助成し、プログラム支援を行っていただいています。



UBSオプティマス財団には、ネパールのヌワコットにある6つの学校の再建と私達の識字教育プログラムを助成することで、ルーム・トゥ・リードのネパール地震復興事業を支援して頂きました。この支援は、災害発生後の重要な介入方法として質の高い子どもの教育を含む、UBSオプティマス緊急対応支援金の一環です。



米国国際開発庁 (USAID) インドは、インドにおいて画期的な低学年読書プログラムを支援するため、約540万米ドルを寄付していただいております、直接の実施やルーム・トゥ・リード・アクセラレーターを通して、5年間にわたり4つの州の公立小学校に通う約25万人の子ども達がその恩恵を受けることができました。

マネーグラム財団
モルガンスタンレー・インド
ニュークス
レンショウ財団
SJSチャリタブル・トラスト
スパーリノ財団
東京海上日動火災
保険株式会社
ユニセフ (インド)
ホワイトハイブ・コール
世界銀行

物資・サービス寄贈団体

ブック・エンタープライズ
シスコシステムズ
クレディ・スイス
ガンドロップ・ブックス
ヒルトン
ケッチャム
オリバー・ワイマン
リライアンス・キャピタル
スコラスティック
タブロー
タウンゼントプレス
ウィワーク

財務報告

世界中の皆様からの寛大なサポートがあってはじめて、私達の事業は可能になります。私達は、皆様からのご厚意が事業を行う地域社会で最大の恩恵をもたらしていることをご理解いただくため、効率を最も高めて透明性のある財政運営をすることに最善の努力を払っています。

財務ハイライト

現金による寄付

4,926万米ドル

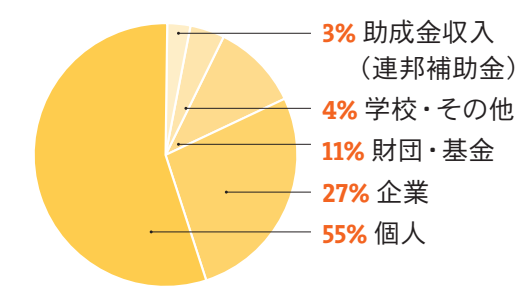
物資・サービスによる寄付

562万米ドル

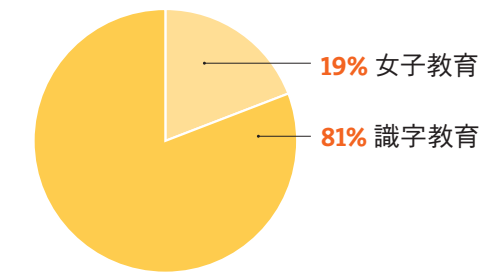
教育プログラムに使用した割合

86%

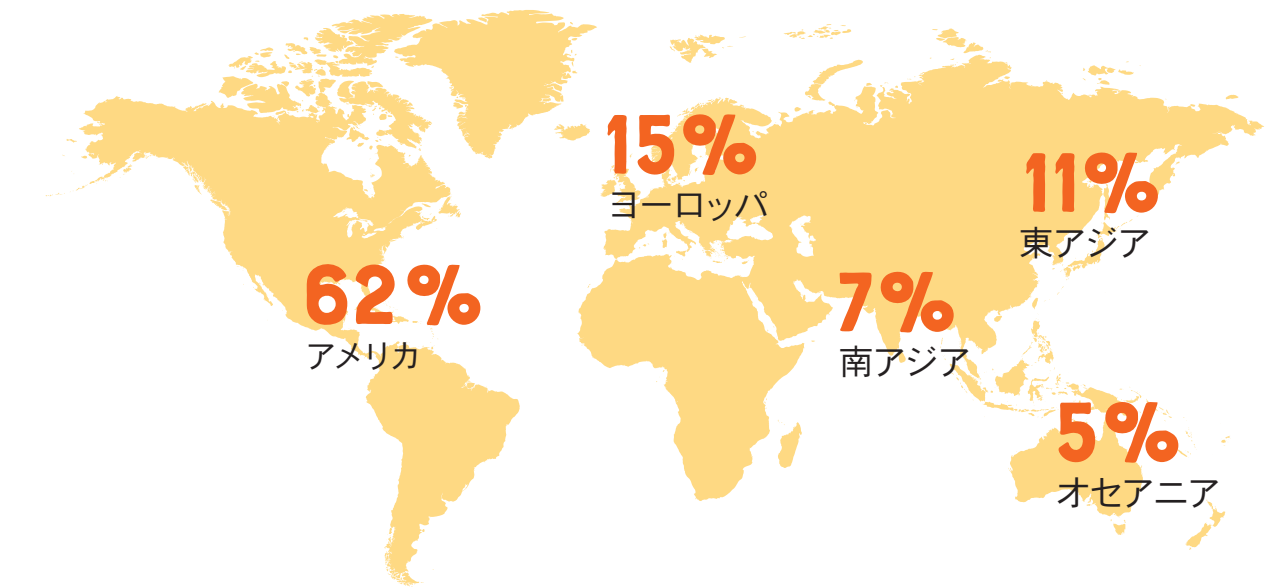
投資者タイプ別寄付の割合



プログラム別出資内訳



地域別収益源



活動報告書

2016年12月31日、2017年12月31日に終了する年度（米ドル）

支援および収入	2017年	2016年
企業	\$13,147,452	\$14,094,706
財団・基金	\$5,485,416	\$2,980,884
個人	\$27,231,726	\$25,278,834
学校・その他	\$2,100,169	\$1,298,113
寄付合計	\$47,964,763	\$43,652,537
助成金収入	\$1,291,498	\$774,828
物資・サービスによる寄付	\$5,621,152	\$3,820,516
投資およびその他の収益（損失）、特別なイベント出費、諸費用	\$(852,581)	\$(163,711)
支援および収益合計	\$54,024,832	\$48,084,170

運営経費:	2017年	2016年
プログラム運営		
識字教育	\$10,089,841	\$9,264,996
女子教育	\$2,241,720	\$2,127,412
図書・物資寄贈	\$5,321,821	\$3,341,016
会議費、旅費、打ち合わせ費	\$1,451,137	\$2,350,724
IT技術費	\$1,299,191	\$1,294,947
モニタリング・評価	\$189,559	\$172,212
専門家報酬	\$1,404,835	\$2,682,356
プログラム経費	\$2,783,022	\$2,869,583
プログラム人件費	\$20,866,566	\$19,311,222
プログラム運営費合計	\$45,647,692	\$43,414,468
運営・管理費	\$2,230,405	\$2,424,055
資金調達活動	\$5,501,518	\$5,891,111
運営経費合計	\$53,379,615	\$51,729,634

換算調整	\$216,081	\$141,920
------	-----------	-----------

非拘束純資産の変動	\$2,070,615	\$(646,246)
一時拘束純資産の変動	\$(1,209,317)	\$(2,857,298)
期首非拘束純資産	\$5,803,810	\$6,450,056
期首一時拘束純資産	\$11,775,117	\$14,632,415
期末純資産合計	\$18,440,225	\$17,578,927

ルーム・トゥ・リードの財務報告書は第三者である公認会計士の監査を経ており、ルーム・トゥ・リードのWebサイトから入手できます。

理事会および職員

理事

ジョン・リディング (理事長): フィナンシャル・タイムズ・グループ CEO

ユスフ・アリゼラ: ARP グローバル・キャピタル CEO 兼 共同 CIO

アンドリュー・ボールズ: PIMCO グローバル・フィックス・インカム 最高投資責任者

メアリー・バイロン: ゴールドマンサックス 元パートナー

ルイ・クラウチ博士: RTI シニアエコノミスト

カール・ハッテンロッチャー: ミリヤードアセット マネジメント マネージングパートナー 兼 最高投資責任者

スコット・キャプニック: HPS インベストメント パートナース LLC CEO

エリザベス M. キング博士: ブルッキングス 研究所 ノンレジデント・シニアフェロー

ジョン・リンドフォー: DST インベストメント マネジメント マネージングパートナー

ジェリー・デル・ミッシアー: カッパー・ストリート・キャピタル 取締役会長

ギータ・ムラリ博士: ルーム・トゥ・リード CEO

フランク・ヴァン・ヴィーネンダール: セールスフォース 元取締役副社長

スーザン・ウォジスキ: YouTube CEO

ジョン・ウッド: ルーム・トゥ・リード 創設者

名誉理事

ヒラリー・バレンタイン (理事長): ブラック & ホワイト・デザイン パートナー

クリス・ピア: アイアンマーク・ロー・グループ 創設メンバー

クレイグ・ブルイェ: マイクロソフト・ビジネスソリューションズ 元CFO

エリン・ガンジュ: ルーム・トゥ・リード 共同創設者、エキドナ・ギビング マネージングディレクター

ピーター・T・グラアー: ブルームバーグ 会長
ティム・クーグル: Yahoo! 元会長兼 CEO

アラスデア・マクタガート: エメラルド・ファン ド 社長

キム・アンスタット・モートン: ガール・ライジング 諮問委員

フェルナンド・ライマーズ博士: ハーバード 大学 グローバル教育および国際教育政策ディレクター

ムニール・サッター: サッター・インベストメント・マネージメント 会長

リージョナル・ボード

ASEAN

マーク・ベディンハム
イザベル & アントワヌ・デシート
リア & ヘルマン・シトハン
リン & マイケル・テイラー
ジャスティン・テオ
コウ・トゥ・ツー & アントニー・ング

アジア太平洋

レベッカ & ダミエン・ブロスナン
アサミ & ベン・ファーガソン
ローラ・ハワード & ディーター・トゥロウス
キディナ・クレイノ・アリレザ & ユスフ・アリレザ
カミラ & ジョン・リンドフォーズ
ヴァレリア & クリス・マンチーニ
タミコ・M・リビット & カール・ハッテン
ロッチャー
キンバリー・スタッフオード & ライアン・コリンケ

オーストラリア

キャリー & スティーブ・ペロツティ
アニー & マイク・キャノン・ブルックス
ザウラ & ブレット・ゴッドフレー

アリソン & チャールズ・ゴーマン
エマ & アンドリュー・グレイ
ニコル & ジョン・キース
ドナ・イップ & デビッド・トリブル

日本

アサミ & ベン・ファーガソン
アヤコ & エリック・ゴールデン
正直 知哉 & ゆり
スーザン & テオ・セルツァー
フレッド・トウファイ

ニューヨーク

メアリー・バイロン
リチャード & サビーネ・チャーマーズ
サラ・アイゼン & マシュー・レヴィーン
ピーター・T・グラアー
ソニー・カルシ
スコット・カプニック
ジャイディーブ・カーナ
キャリン・レベンタル
アート・ムバネフォ
マーク・サイドナー

スイス

ユルゲン・パウアー
パトリシア・ホーガン
サラ & エイデン・カートニエリ
デビッド・モト
ローラ & ロバート・シュモール
マリア・ヴィジル & マルコ・バグリアラ
ティナ・ウストマン

英国

リチャード & サビーネ・チャーマーズ
マリサ・ドリュー
マリア・エリオ・レオニセティ
アート・ムバネフォ
ジェーン & ジェリー・デル・ミッシア
ジョン・リディング
ジョアナ & スチュアート・ライリー
エリカ・ワックス & アンドリュー・ボールズ
ランディ・ワーク

リーダーシップ・チーム

マネジメント・チーム

ギータ・ムラリ博士: CEO
サリ・フリーマン: 最高財務責任者
ローリー・マクマホン: 最高開発責任者 兼 コミュニケーション責任者
ダニエル・リヒナー: 臨時最高国際運営責任者
ヘザー・シンブソン: 最高プログラム責任者
最高人材活用責任者

インターナショナル・ディレクター

スーラヴ・バナジー: インド カントリーディレクター
バンサ・チェア: カンボジア カントリーディレクター
ディーバク・ドグラ: アフリカおよび国際運営ディレクター
ヴァネッサ・フランシス: 南アフリカ カントリーディレクター
シェヴァンティ・ジャヤスリヤ: スリランカ カントリーディレクター
ピーター・ムワカワレ: タンザニア カントリーディレクター
ニュオン・ニュイエン: ベトナム カントリーディレクター
ウジャワル・ラジ・ボクレル: ネパール カントリーディレクター
ラクヒ・シャーカー: バングラデシュ カントリーディレクター
クリスティ・スコット: プログラム運営バイスプレジデント
ディネシュ・シュレスタ: 共同創設者 兼 フィールドオペレーションディレクター
ノーカム・スーパノヴァング: ラオス カントリーディレクター

2018年9月1日現在



レガシーソサエティ

マーティン・ゴワー は、ルーム・トゥ・リード英国の理事です。弁護士の職を引退したゴワー氏は、在職中は顧客の遺産相続の手続きを支援し、故ダイアナ妃の遺言書や遺産分配の管理を行う弁護士として脚光を浴びました。

同氏は自身の遺言書にルーム・トゥ・リードの事業支援を選んでくださいました。どこに住んでいても、子ども達は質の高い教育を受ける機会を得るべきであるとの強い信念によるものです。

「よい遺言書とは、慎重な法的助言のもとに作られ、責任感を持ち、正しい目的のために情熱を注ぐルーム・トゥ・リードのような人達が確実に保護され、支援されるような文書です。」と同氏は述べています。

レガシーソサエティは、遺産相続計画によりルーム・トゥ・リードへの遺贈寄付を託してくださる方々を称えます。レガシーソサエティの一員になると、次世代の子ども達が、自身や家族がよりよい生活を送るために必要な教育のリソースや支援を確実に受けられるようになります。遺産分配またはその他の遺贈による寄付を通して、私達の事業に思いを寄せてくださった皆様に心よりお礼を申し上げます。

詳細については、legacy@roomtoread.org までお問合せください。